

山行報告書

通算山行№	個人山行	報告者	後藤隆徳
年 月 日	02年12月28日(土) p.m.~03年1月1日(水)		
山 名	吾妻連峰(東大嶺)・大沢下り	体力度=4	技術度=4
		自然度=6	
長い長い下りについて ヘッドランプの滑降になった			
コースと タイム	12/30(曇) 天元台最終リフト発9:45-人形石10:10- 明月荘11:40~12:15-林道14:25- 大沢駅17:15-蔵王20:00		
標 高 差	上り=約300m、下り=東大嶺~大沢駅=約1500m		
今日の ひと言	後藤隆徳(55) = 「蛍の光」を初体験。深雪期は困難ですね。 加藤秀子(53) = やっぱり山スキーは楽しい。		

12/28 事務所13:30発。混んでいない首都高を通り雪が舞う米沢着20:30。時間が早いので街角の居酒屋で空腹を満たす。

刺し身をいただき、地酒の「福鶴」は最高の味だった。白布温泉に上り、例によって快適な某所でテン泊。

12/29 8:30のリフトで上がる。吹雪模様で寒い。何本か滑ったが、ゲレンデは退屈だった。近くのヒュッテに飛び込み熱燗をいただいた。

午前で上がり蔵王に向かう。しかし、米沢の街から吾妻を仰ぐと雲はグングン切れていく。スキー場の予報も明日は良いと言っていた。浩一も出来れば西吾妻に上りたい希望なので再び、白布温泉に踵を返す。

とりあえず風呂と近くの民宿・簡保に当たるが良い条件がない。ところが加藤特攻隊長が某旅館に交渉したら、素泊・朝食付きを「2500円」で良いとのこと。温泉はでっかい50人用に浩一とたった二人だった。(笑い)

12月30日 朝風呂時、青空が見えた。始発で上がる。最終リフトの標高1820mは-15度だった。雪は完璧なパウダーでキュキュと鳴く。リフトから中大嶺(1964m)にラッセル。浩一と来生はここから、南下し西吾妻山(2035m)に向かう。今日はとにかく天気と時間が勝負なので飛ばす。

降雪はないがガスっぽい稜線に行く。完璧にガスられると明月荘は発見出来ず到着が遅れ、12時を回るようなら引き返した方が無難だ。そこからの長いからだ。過去に先人達は道迷い、ピバーク等、苦勞している。幸い今日の天気はマズマズだ。

明月荘には予定通りだった。雪に埋まった入り口をコジ開け昼食摂る。しかし長居は無用。スキーにワックスを掛け再び強風の中出発。ルートはここからほぼ真北に取る。上部は快適だったが、傾斜が緩く深雪の所は滑りがイマイチだった。

それでも何とか「忠ちゃん転ばし」の急斜面をこなし、林道に降り立った。しかしここから受難の始まりだった。傾斜の無い深雪の林道はスキーが滑らない・・・とうとうシールで歩き始める始末。

時間はドンドン経過する。が、スキーは滑らない。町田グラウスの柿本さんが以前苦勞した記録がチラチラ頭をかすめる。あの時は確か大沢駅着が19時頃ではなかったか？それでも、「砂盛」を過ぎた急斜面は快適に飛ばした。

もう時間は16時半を回った。”町にはチラホラ灯（ともし）がついた”の「シーハイルの歌」を地でいっているような感じだった。（笑い）

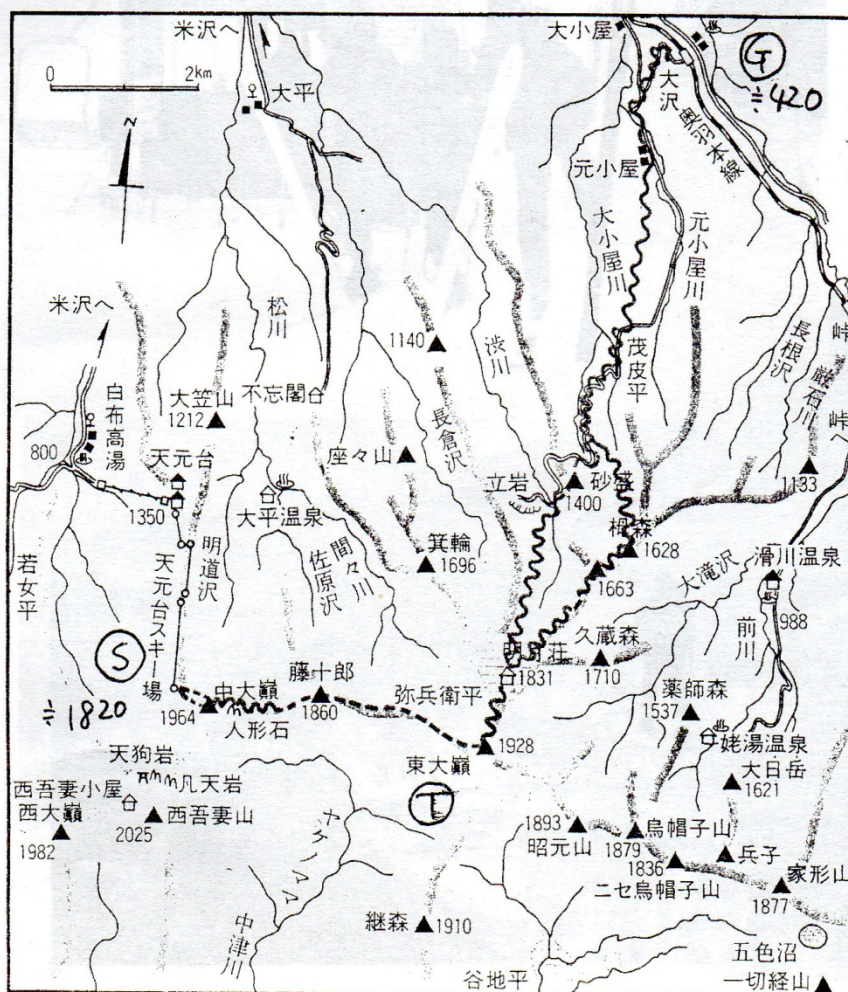
で、米沢牛を放牧すると言われる吾妻山麓放牧場まで来ると、ナ、ナ、何と一本のトレースが林道にスーっとついているではないか。

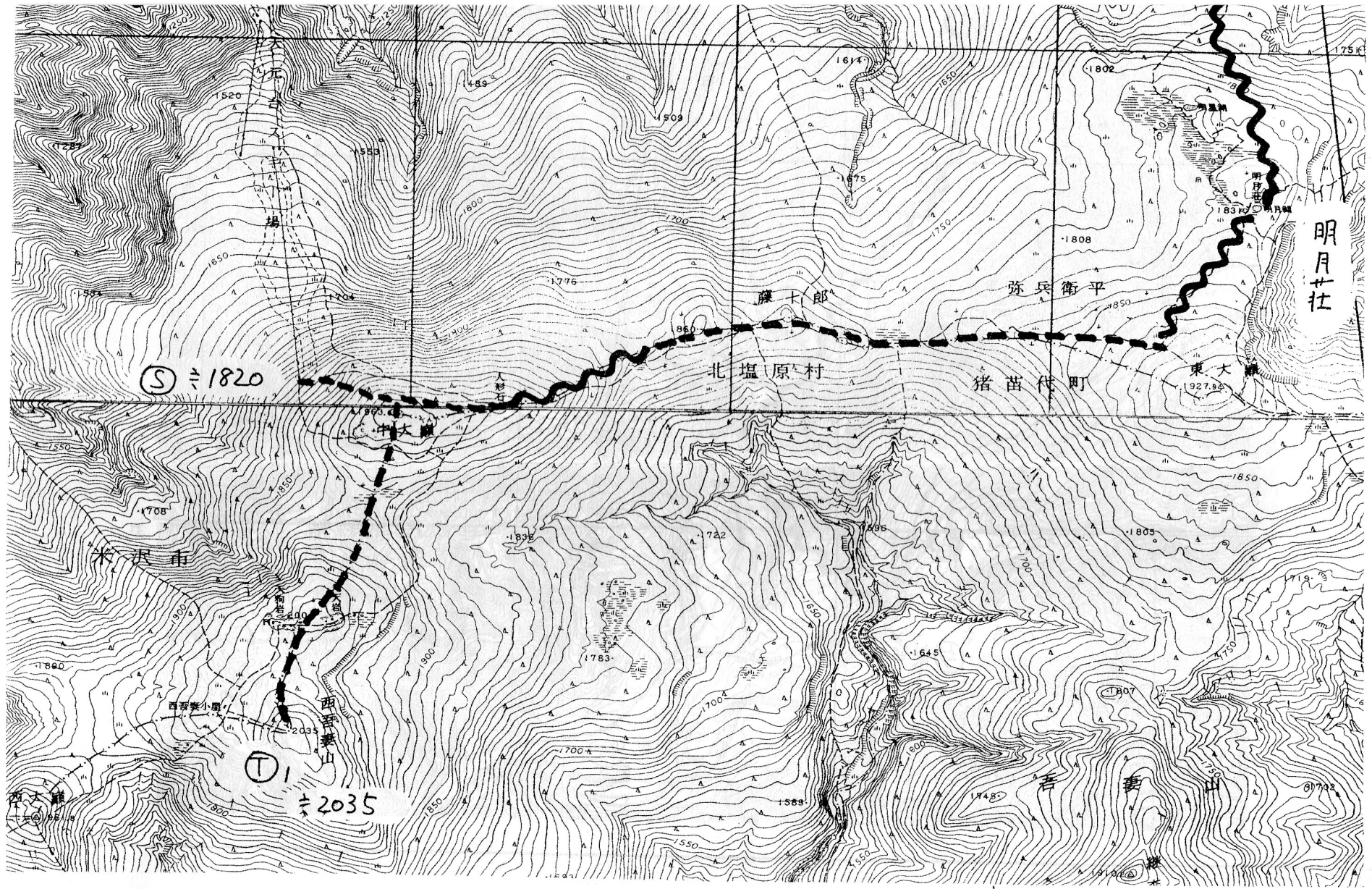
ヤッター、ラッキー。そこからは夕方の低温と相まってスキーは滑る、滑る。ヘッドランプは点けたものの、計画書に15分遅れで大沢駅「構内」に到着した。そこには16時から浩一、来生、笠間、福室（長岡姉）が車のヘッドライトを点けて待機してくれていたのでありました。（本当に、ありがとう・・・）

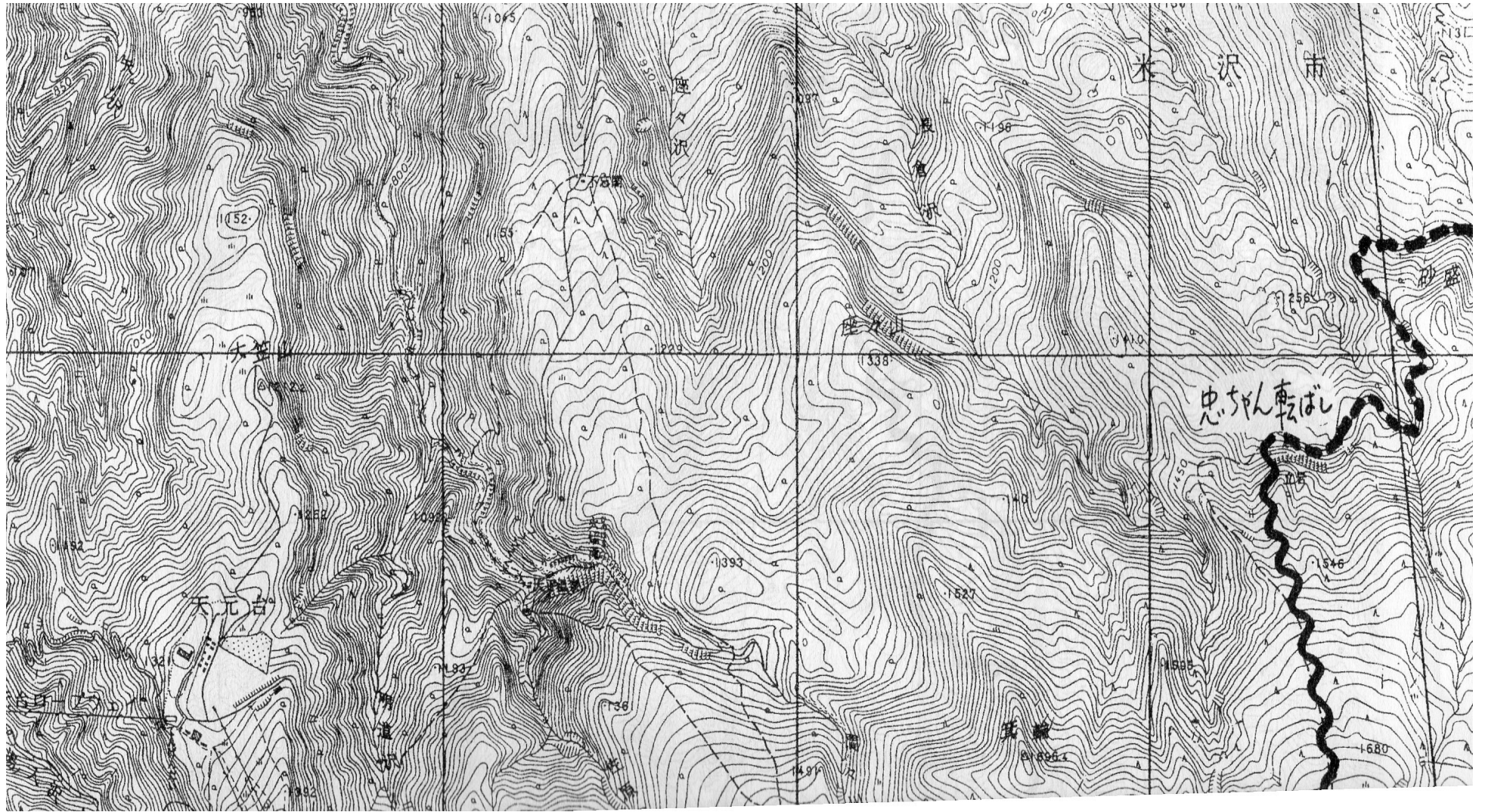
ああ、飲んだビアの美味かったこと。携帯を覗くと仙台・朋友会の石塚千代さんが旦那様とこれから蔵王に来るといふ。では、我々もと蔵王の24時間健康センターで合流し、大いに交流を図った。

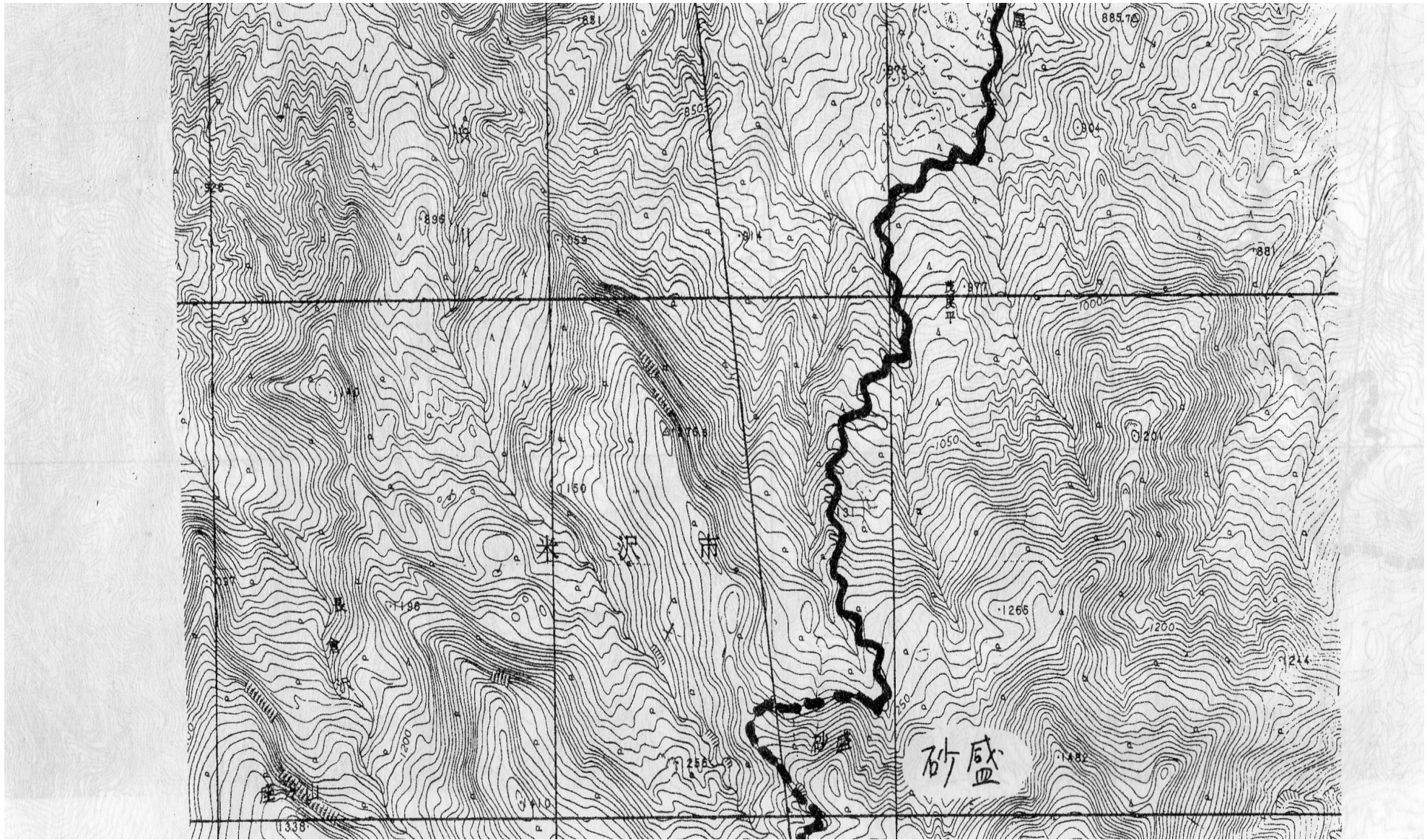
自然の記述・反省・その他

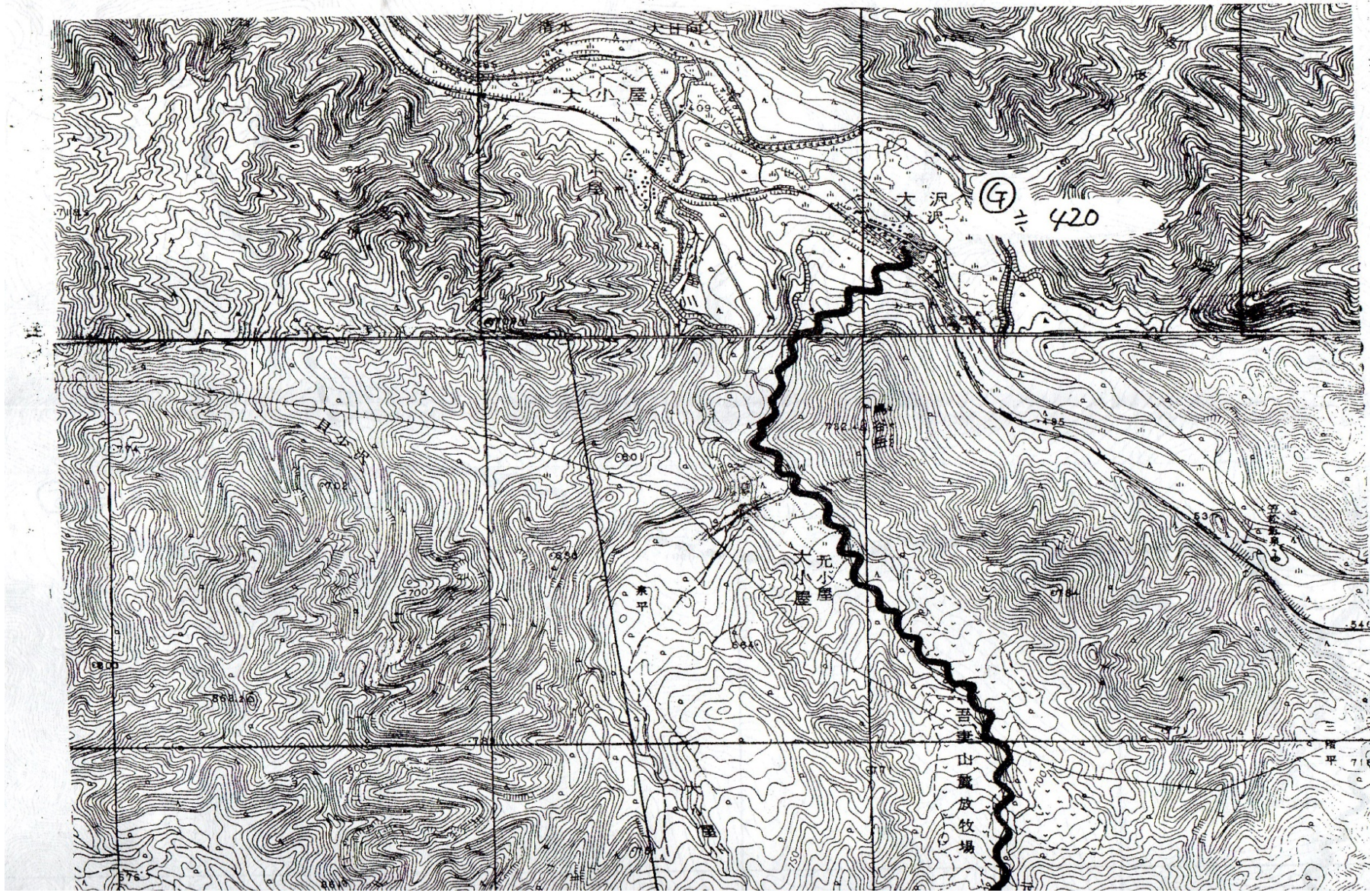
1. 無線の入りが悪かった。携帯もイマイチだった。
2. 全コース誰にも会わない。完璧な読図力が必要。
3. 出来れば前日、明月荘に泊まりたい。
4. コースがもう少し急だとイイね。











④ 420

吉野山麓放牧場

大沢

大小屋

大日向

大小屋

赤平

平 716

700

800

800

750

750

54

800

800

800

700

700

700

700

700

700

700

700

700

700

700

800

800

800

700

700

700

700

700

700

700

700

700

700

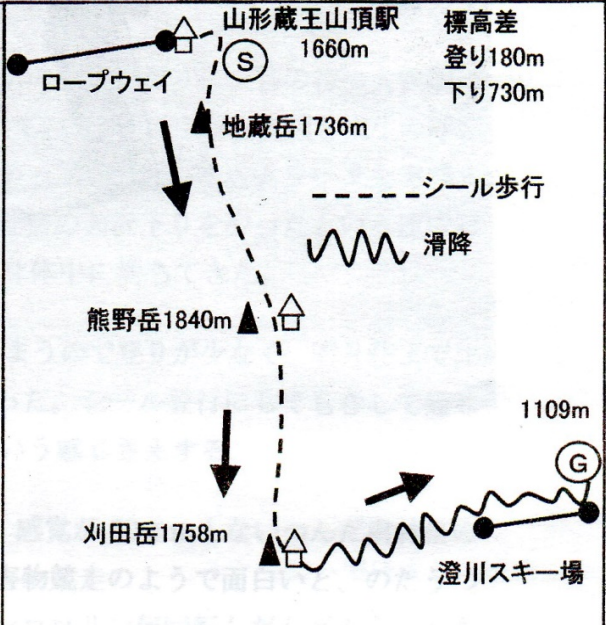
700

山形蔵王から 蔵王越え 宮城蔵王へ 長岡浩一

02年12月31日(火)	山形蔵王地藏山頂駅9:15～地藏岳9:30～熊野岳避難小屋10:20～ 刈田岳避難小屋11:00-11:30～宮城蔵王澄川スキー場12:30		
参加者	CL	後藤隆徳	東北は、山も温泉も酒も、そして人も最高だった。定年したら東北に住もうか。
		長岡浩一	霧で樹氷ならぬ柱氷ばかりの景色だったが、有名な蔵王に来てうれしい。
	朋友会	石塚千代	また山登りして遊びましょう。今度は加藤さんとも一緒に登りたいです。

前夜は、山形の温泉会館『ラッキー』で夜遅くまで盛り上がった。わざわざ、我々の為に仙台から来てくださった朋友会の石塚さんご夫妻に感謝である。

石塚さんの車に誘導され、山形蔵王スキー場へ。ロープウェイはまだ混んでおらず、整理券なしで乗れた。乗り継いで降りた駅が山頂駅。シールを貼って出発。標識のある鞍部まで50m程登り、右へ折れて立入禁止のロープをくぐり、地藏岳を目指す。ジップの温度計はマイナス10℃位を指している、風もあり、見通しはかなり悪く、ちょっと厳しい条件だ。今晚、刈田岳の避難小屋に泊まるという学生らしきパーティは、赤布付竹竿をたくさん持ってきていた。



15分程で地藏岳着。ホワイトアウトに近く、何も見えない。地図と磁石で方向を定める。この先不安であるが、来た事のある千代さんも、確かその方向だという。こういうとき、経験者がいると心強い。定めた方向に少し進むと、大きな誘導ポールが見えてきて一安心。でもビックリ。ポールは10mもない程の間隔で続いている。ホワイトアウトになれば何も見えず、進むのが難しいのは蔵王に限った事ではないが、ロープウェイで簡単に入れるため、遭難が多かったのであろう。20年前の白山書房のルート集には、70名以上が死んでいるとあった。

我々3人の人間以外すべてがエビのしっぽに覆われている。ヤッケにも付いてくる。ポールには西側に40cm位エビのしっぽが付いている。ここで力尽き倒れて、2・3日見つからなければ樹氷ならぬ人氷になってしまっ、春まで見つからないかも。雪面は、まるで立派なエビのしっぽのじゅうたんのようである。

ポールに導かれ、広い斜面をトラバース気味に緩く登っていくと尾根に出た。熊野岳避難小屋がある。ピークは近いがきらめた。避難小屋で休みたいが、分厚くエビのしっぽに覆われていて入れなかった。

シールをはずし、つかの間の滑りを楽しむ。と言っても、シュカブラの斜面に霧で、ポールを見失わない様に行くので快適ではないが、これはこれで楽しい。すぐに滑らなくなり、寒風の中シールを貼る。今回、ずっと右後ろからの風のため助かった。正面からではたまらない。

これから馬の背と呼ばれる所だ。ポールが無ければ難所であろう。右斜面は広く緩いが、左は火口壁。と言っても何も見えないので、地図からの想像だが。晴れていれば、お釜が見えてすばらしい景色だろうに、見える景色はポールのみ。ポールが無いと、左の火口壁の雪庇が怖くて右へ右へ稜線を離れて行きそうだ。

緩い登りに変わり少し行くと、一瞬だけ白い闇が割れて青い空が見えた。回復傾向か。右にポーッとレストハウスの大きな建物が現れ、前方にエビのしっぽに覆われた鳥居が現れた。川田岳だ。避難小屋に入り、休憩する。コンクリート製の頑丈な小屋だ。今晚こへ泊まるさっきのパーティは、きっと楽しい夜になるだろう。

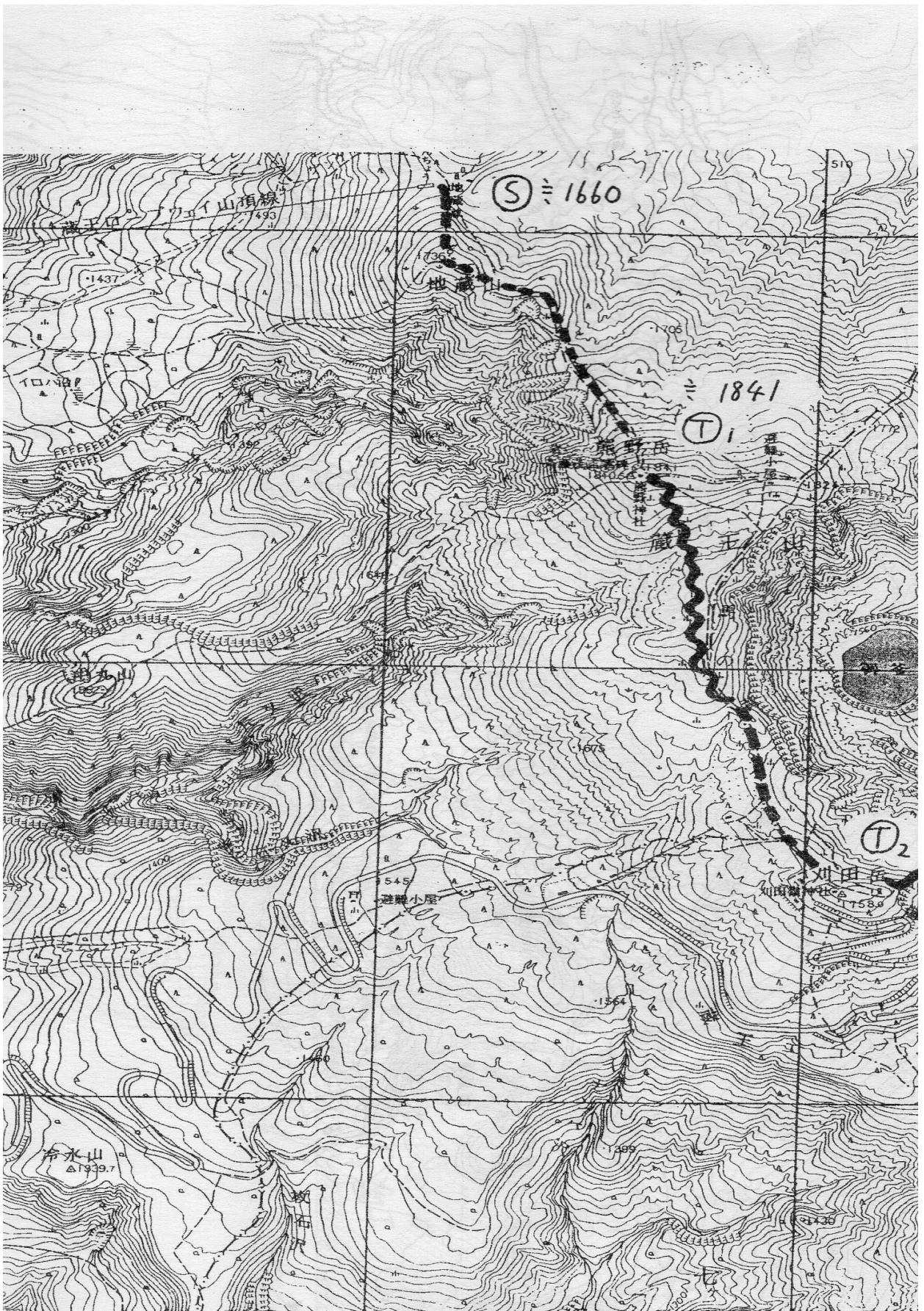
いよいよシールをはずし、楽しい滑降。ポール沿いにガジガジの斜面を少し下り、右の柔らかい斜面に入る。気持ちいい。雲から抜け、陽が差してきた。気温も上がってスキーが滑るようになってきて快適。マイナス10℃位より寒くなると、雪の結晶が硬くなって滑りがとても悪くなる。今マイナス5℃位か。丸い古いツアー標識が現れてきた。

樹林帯に入り、背の低い灌木がうるさい。もう1カ月もすると、これらも雪に埋まって快適だろう。標識の番号が1番になって宮城蔵王・澄川スキー場へ出た。整地された雪面をかっとばし、ゲレンデ下のレストハウスに着いて、生で乾杯。

遠川田温泉までの無料送迎バスがあるのを千代さんが知っていて、ハウスに着いた時予約してくれた。13時50分発のバスに乗る。遠川田温泉で休憩のできる温泉を、観光案内所兼コンビニで聞くと、三次郎という旅館を教えてくれた。露天風呂からは雲の取れた川田岳がよく見えた。ゲレンデ隊とも合流し、仙台の街へ繰り出し忘年会。二次会は、石塚さん宅のマンション18階で紅白を見ながら楽しんだ。

今回私は、外れ易い左肩を心配して、昨日の大沢下りと今日の蔵王越えは、車の回送役を申し出た。しかし、加藤さんに、「1月に手術したら今シーズンはもう行けないかもしれないし、蔵王越えは危ないところも無さそうだから、車は私に任せて行っといで。」と言われ、蔵王越えを楽しませてもらった。行って良かった。感謝します。





$$\Delta \textcircled{S} \sim \textcircled{T}_2 =$$

